

新学習指導要領が目指す、
授業で育成する「資質・能力」の3つの柱

学びに向かう力・人間性等

知識・技能

思考力・判断力・表現力等



1 新学習指導要領の方向性に向けた対応

(1) 「社会に開かれた教育課程」「カリキュラム・マネジメント」の実現に向けて

- ア 教科等横断的な視点で図る教育活動の改善
 - A 各教科等で育む「資質・能力」の整理、年間指導計画や教育内容の再考
 - B 運動会等の学校行事や委員会活動等それぞれの活動で育む資質・能力の整理と設定
- イ 新教育課程編成をふまえた教育課題への対応
 - A いじめ・登校支援の対応
 - B 支援教育・インクルーシブ教育の推進
 - C 地域とともにある学校づくりの推進
 - D プログラミング教育の導入と対応

(2) 新設教科等への対応

- ア 「特別の教科道徳」の準備と対応
 - A 「考え議論する道徳」授業のための研修
 - B 別業及び年間計画の作成と改善、評価のあり方についての研修

イ 「外国語活動、外国語（英語）科…新設」の準備と対応

- A 3・4年 外国語活動 35時間 ※ 0時間→35時間
- B 5・6年 外国語（英語）科 70時間 ※ 35時間→70時間…現在は35時間の外国語活動



2 増加する35時間分へのシミュレーション例 ～小学校～

+35時間 (単位時間) 45分×35時間=1575分

	国	社	算	理	音	図	家	体	道	特活	外国	総合	小計	行事等	計
H14年	175	100	150	95	50	50	55	90	35	35	—	110	945	約65	約1010
H23年	175	105	175	105	50	50	55	90	35	35	35	70	980	約65	約1045
2020年	175	105	175	105	50	50	55	90	35	35	70	70	1015	約55	約1070

- (1) 余剰時間（天災等に備えて余剰で授業時数を確保している時間）の削減 約2～20時間 【各校】
- (2) (授業時数で計上されない) 特別活動（クラブ活動・委員会活動）の見直し 約1～5時間 【各校】
例) 年間約12時間 → 年間約7時間
- (3) (授業時数で計上されない) 行事（遠足や宿泊学習等）の見直し 約0～5時間 【各校】
- (4) 朝の時間を教科として計上 約13時間 【各校】

例)	月	火	水	木	金
約15分	朝読書	係/学級集会	計算タイム ※1/3時間計上	漢字タイム ※1/3時間計上	朝読書

約15分	朝読書/係等	外国語 ※1/3時間計上	算数 ※1/3時間計上	国語 ※1/3時間計上	朝読書/集会等
------	--------	-----------------	----------------	----------------	---------

- (5) 外国語科15分授業や60分授業の設定について検討 【各校】
- (6) 『校内会議や研修』の削減や日程変更、通知表（票）作業日を変更 約6時間 【各校】
例) 3回程度 校内会議や研修 1回削減、1回を長期休業中に移動
通知表（票）作業日 9月の1回を長期休業中に移動 ※2学期制の場合
4時間授業を6時間授業にすることで2時間×3回分
- (7) 長期休業期間の短縮（1日分減らす等）・期間変更について検討 約0～6時間 【各校】
- (8) 管理運営規則の変更…長期休業・冬季休業を1日分減らす等 約0～6時間 【教育委員会】